北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2025 4

No.340

第45回(令和6年度)
北海道麦作共励会集団の部　最優秀賞　受賞

令和6年度全国麦作共励会
集団の部　全国農業協同組合中央会長賞　受賞

JAつべつ

ＪＡ情報館

第４５回（令和６年度）北海道麦作共励会集団の部　最優秀賞
令和６年度全国麦作共励会集団の部　全国農業協同組合中央会長賞
実需に求められる小麦づくりを目指して！『株式会社　たつみ』受賞される！

この度、第45回（令和６年度）全道麦作共励会「集団の部」で最優秀賞・「全国麦作共励会」集団の部において全国農業協同組合中央会長賞を『株式会社 たつみ』が受賞致しました。

株式会社 たつみは、畑作・園芸を主体とした農業地帯で小麦・甜菜・種子馬鈴薯・大豆・玉葱を主体に経営を展開しています。

小麦については、特に肥培管理に重点を置いた栽培を展開し、肥料銘柄の検討など施肥設計から肥料の特徴を検討し先進的に肥料試験等を取組み効率よく栽培を進めています。

同社は、構成員の技術の高位平準化を図るため、各作物の担当者を決め、毎日の作業後には事務所でミーティングを実施し、注意点等を話し合いながら進めています。

小麦の青空講習会（起生期・止葉期）や播種前講習会（８月下旬）など全員参加を基本に個々の栽培技術の向上に努めています。又、農協青年部による小麦の学習会においては、開催時に部員としての参加と圃場の提供を行い地域全体の管理技術の向上を目指しています。

今後の麦作への取組は、コムギ縞萎縮病の拡大に伴い「きたほなみ」の栽培が難しくなってきている中、要望の高い「きたほなみ」を抵抗性品種が出るまでの間、作り続けるとともに現在、構成員４戸と小さな集団ですが、その主力となる構成員の年齢は、平均40歳と若く各作物に対する学習意欲も高いことから、農業改良普及センターと連携を図り、実需に求められる品質の小麦栽培に向けて、社長以下、構成員の皆さんは再確認されていました。

尚、３月12日には、㈱たつみの構成員一同がＪＡを表敬訪問し、受賞の喜びを報告致しました。ＪＡ佐野組合長は、受賞の報告を受けて、小麦の振興に対する同社の熱意と努力に対し、最大の賛辞を送り今後の小麦生産に期待を述べていました。

▲受賞報告の様子

▲全国麦作共励会表彰式

▲令和６年度北海道米麦改善講習会・表彰式

地区懇談会を開催！

３月３日に、10 営農組合毎に３部制の時間帯を設定し、ＪＡ会議室にて地区懇談会を開催しました。

役職員が令和６年度施設投資実績・決算状況報告・剰余金処分（案）及び事業分量配当・子会社決算状況・㈲だいち各種利用料の変更･鹿害対策（防護柵）事業･次期道営畑総事業･㈱あぐりの債権処理･ＪＡ役員推薦会議スケジュール等について説明を行いました。出席戸数は 45 戸、出席率 35％でした。

組合員からの質疑に対する回答については、３月 31 日の総会議案配布時に同封しています。

JA YOUTH　JA TSUBETSU YOUTH

JAつべつ青年部活動をSNSページにて随時更新中です！
是非ご覧下さい！Facebook、Instagram

Facebook QR　Instagram QR

ＪＡ情報館

令和６年度 甜菜生産共励会表彰と農産物関連合同総会を開催！

■甜菜振興会　第65回定期総会　■馬鈴薯振興協議会　第46回全体総会
■大豆生産組合　第33回定期総会　■小麦振興会　第5回定期総会

３月５日ＪＡ会議室にて生産者48名、役場１名、普及センター１名、日甜２名、ＪＡ７名出席のもと、最初に令和６年度甜菜生産共励会の表彰を行った後、津別町甜菜振興会（山辺一記会長）・津別町馬鈴薯振興協議会（松田耕治会長）・津別町大豆生産組合（堂籐勲組合長）・津別町小麦振興会（乃村浩継会長）の農産物関連合同総会を開催しました。岡本常務と山辺甜菜振興会長の挨拶の後、日甜梶所長より御祝辞を賜り、議長に後藤拓哉氏が選出され、提案した全議案について承認されました。また、カルビー馬鈴薯生産組合の運営細則の変更についても承認されました。

甜菜振興会は、任期満了に伴う役員改選が行われました。
尚、日甜津別原料事務所より、甜菜の状況報告並びに「㈱たつみ」取締役社長、有岡淳一さんより麦作共励会の受賞に合わせて、小麦の栽培に関する講演を頂きました。

【令和６年度 甜菜生産共励会表彰】
産糖量の部　最優秀賞：高台地区　真鍋　慎二　氏
（前年度最優秀賞）
優 秀 賞：上里地区　中山　貴行　氏
優 秀 賞：活汲地区　千葉　充彦　氏

【甜菜振興会新役員体制】　※３/４　新役員の互選にて決定
会　長　山辺　一記
副会長　河本　聡、市場　達也
理　事　遊佐　勝美、池田　健太
監　事　上田　博康、新谷　和典

▲甜菜共励会表彰

▲㈱たつみ有岡淳一さん

▲JA岡本常務挨拶

▲ホクレン米麦農産課

▲阿部日甜所長

▲後藤総会議長

▲山辺甜菜振興会長

ＪＡ情報館

甜菜育苗センター操業！

３月７日から３月18日まで10日間の日程で、活汲事業所構内にて、今年度の甜菜育苗センター操業を行いました。

年々直播が増加傾向にあり、移植用のポット冊数は減少してきていますが、従業員（出役職員・アルバイト・三星運輸）はＡラインのみの稼働により、それぞれの工程で手際良く作業を行い9,092冊作成し、各農家のビニールハウス内へ随時配送し、ポット降ろし作業を完了させました。

一時悪天候により操業日程変更となりましたが、事故等もなく無事に操業を終了しました。

令和６年度 網走・西網走漁協からの応援証贈呈式！

３月18日網走セントラルホテルにおいて令和６年度網走・西網走漁協からの応援証受証贈呈式が行われました。

本年度は、生活協同組合コープさっぽろ北見地区本部に対し、「持続可能な環境保全の社会づくり」を目指して、エネルギー資源の有効的な使用を通じた地球温暖化防止への寄与、業務の中で環境配慮を行う風土づくりなどの基本方針を掲げ、森林資源の保全に努めている事が網走川流域の環境維持に貢献していると「コープ未来の森づくり」や「海のクリーンアップ大作戦」など流域水系における環境保全活動が評価されての受証となりました。

尚、当日は、応援証受証者の会総会と「川と海を行き来する魚たちと河川環境の保全」題して、サクラマスとワカサギにおける取組みについて、北海道栽培漁業公社 代表理事専務　永田光博氏の講演も行われました。

二部合同でパン作り講習会を実施！

３月25日女性部（細川タケ会長）12名、フレッシュ・ミズ（堂藤友世会長）１名、合計13名が参加して、食品加工研修センターにて毎年行っているパン作り講習会を二部合同で行いました。

農作業が始まった際のおやつとして、たくさんの種類と数のパンを焼き上げました。今回は、あんぱん、豆パン、レーズン、クリーム、チョコクリーム、コーヒークリーム、カレーソーセージ等一約10種類のパンをつくりました。

ＪＡ情報館

令和６年度　津別町酪農振興会 乳牛検定部会冬期研修会を開催！

３月５日ＪＡ会議室にて、会員７名、普及センター２名、ＪＡ１名合計10名出席のもと、令和６年度津別町酪農振興会乳牛検定部会冬期研修会を行いました。

研修会では、網走農業改良普及センター専門普及指導員 安藤大裕氏を講師に招き、感染症と防疫対策について講演を受けました。

【講演内容】

①サルモネラ症について
②ヨーネ病について
③感染症の防疫対策について
④最近のトピックス（ランピースキン病について）

質疑応答では、サルモレラ菌が感染したバケットにより、牛舎清掃後に給餌を行っても大丈夫か？⇒初期対応を間違えると潜伏期間が長期化するので注意が必要。堆肥として使用する場合にＴＭＲ等の飼料畑に使用しても大丈夫か？⇒堆肥の発酵度合いによるが、リスクを伴う。サイレージは特に注意が必要。スリラーはリスクが高い。

以上、専門的な内容により会員は、再認識し有意義な研修会となりました。併せて、午後７時から「じゅうじゅう苑」にて懇親会を開催し、意見交換を行い会員相互の親睦を深めました。

第１９回津別町特別栽培農産物推進協議会総会を開催！

３月21日ＪＡ会議室にて、会員10名、役場１名、普及センター１名、岐阜中央青果㈱青木社長、ＪＡ８名の合計21名出席のもと、津別町特別栽培農産物推進協議会（丸尾裕司会長）は令和６年度通常総会を開催しました。

議長に丸尾会長が務め、協議内容としては、事業計画の地産地消や消費拡大について、令和６年度からふるさと納税への取組を引続き絡めて行くこととし、産地としての使命である安定供給と共に会員の所得向上を図る為、系統並びに関係機関と連携を強化し、販売推進活動を積極的に進めることを確認し、全議案が全て承認可決されました。

尚、総会終了後、岐阜中央青果㈱青木社長より、青果物の情勢について講演頂きました。

種子馬鈴薯組合との意見交換会を開催！

３月６日ＪＡ会議室にて、種子馬鈴薯組合役員３名、食用馬鈴薯組合役員２名、カルビー馬鈴薯組合役員２名、ＪＡ３名の合計10名の出席のもと、①種芋サイズおよび価格について②トヨシロの今後の作付について③種芋の取りまとめ方法について意見交換を行いました。

今後の種子馬鈴薯の販売方法（重量販売・規格別販売・個数販売）の検討が必要であり、都度協議し進めて行くことを確認しました。

ＪＡ情報館

ＪＡ職員辞令交付及び資格認定試験合格証書授与式！

３月22日17時30分よりＪＡ会議室にて、辞令交付（令和７年４月１日付）並びに令和６年度ＪＡ職員資格認定試験合格証書授与式を開催しました。

佐野組合長より「組合長になって５年経ちますが、感染症から始まって、生産資材の高騰、今は円高で二重苦、三重苦と生活する上で大変苦労されているだろうと思っています。そんな中で考え方を変えなければならない時期に来ていると思います。情報を共有して一人一人が変わる勇気があれば必ず変化が起こります。私はその変化を期待します」と挨拶がありました。

また、当ＪＡでは、令和元年度よりＪＡ職員の資質・知識向上を目的として、資格認定試験合格者に対して褒賞制度を実施しています。各職員が希望又は業務命令において資格認定試験にチャレンジした結果、８名の職員が合格しました。合格した各職員に佐野組合長から合格証書が授与されました。

■資格認定試験合格者
【上　　級】 加藤　賢吾、林　　晃子
【中　　級】 安坂　勇也
【初　　級】 青山　龍人、吉田　　凌、鈴木裕生歩、伊原みづき
【営農指導員】 四栗　敬悟

本年度新規採用職員２名の辞令交付（令和６年４月１日付）は、３月27日終礼時に本所１階事務所内にて行われました。佐野組合長より「一流は沢山失敗して学んでいく。わからない事はそのままにせず、先輩方に聞いて学んでほしい。早くＪＡの屋台骨になれるよう経験を積んで、これから貢献できるよう頑張って下さい」と激励の言葉を頂きました。配属先は下記の通り

・石澤　崚生（函館陵北高校卒）　・・・　金融部 金融共済課
・伏見　侑晟（ＪＡカレッジ）　・・・　経済部 農産課

▲久保金融部長

▲後藤農産課長

▲成田生産資材課長

▲中川経済部長

第３０回津別町農業新規参入者受入協議会定期総会を開催！

津別町農業新規参入者受入協議会（小林正弘会長）は３月27日、ＪＡ会議室において令和６年度定期総会を開催しました。総会には会員、津別町、網走農業改良普及センターの職員を含む関係者16名が参加しました。小林会長と佐野組合長の挨拶の後、令和６年度事業報告として、酪農学園大学より２名受入を行いました。令和６年度事業計画として、津別町の取組情報を開示する等、新規参入者の人材確保と育成を目的に、多くの農業実習生を受け入れるための体制、環境作りを継続して取組んで参ります。協議事項については、全て承認されました。

総会終了後、先進地視察報告会と今後の意見交換を行いました。

▲小林正弘会長

機　構　図（令和７年４月１日現在）

部長	課長	係長	係	準職員・嘱託

代表理事組合長　佐野成昭

常務理事　岡本幸年【常勤・信用担当理事】

参事　中西友幸【使用人兼務理事】

監査室（総務部長兼務）
審査役　本間　渉

総務部
審査役　長岐　章久

- 部付職員
  - 中川寿幸((株)あぐり監査役 兼 ㈲だいち監査役)
  - 中川剛志((有)だいち専務)
  - 溝口浩伸((株)あぐり専務兼務)
  - 有岡岳彦((美幌広域連・出向)
- 管理課　考査役　村田達也
  - 主事補　最上　望
  - 主事補　宮本明音
- 営農課　考査役　坂田哲也
  - 調査役　岩川知樹
  - 調査役　平田佳奈
  - 調査役　伊藤尚美
  - 主事補　青山龍人
  - 嘱託　有岡敏也（MRマネージャー）
  - 嘱託　岩崎敏晴（土地改良推進室担当）
  - 嘱託　溝口浩伸
  - 臨時　伊藤裕康

金融部
審査役　久保　玲児

- 金融共済課　考査役　加藤賢吾
  - 調査役　後藤ゆかり
  - 主事　最上智生
  - 主事補　迫田成美
  - 主事補　松田淳美
  - 主事補　林　晃子
  - 主事補　田中るい
  - 主事補　伊原みづき
  - 見習い　石澤崚生
  - 準職員　鈴木裕生歩
  - 嘱託　川瀬直人

経済部
審査役　中川　寿幸

- 審査課　農産課長兼務
  - （兼　井上一樹）
- 農産課　考査役　後藤　全
  - 調査役　太田智也
  - 主事　井上一樹
  - 主事　四栗敬悟
  - 主事補　上野岳樹
  - 主事補　髙野稜一郎
  - 見習い　伏見侑晟
  - 準職員　青柳淳子
  - 【施設コントラ担当】
  - 調査役　太田和也
  - 主事補　大川裕夢
  - 嘱託　相馬政弘
  - 準職員　諸頭杏介
  - 準職員　森　正充
- 畜産課　考査役　中川剛志
  - 調査役　園部　守
  - 調査役　松田玲穂
  - 主事　内田徳久
  - 主事　金内恵美
  - 主事　古田智光
  - 嘱託　有岡佳子
  - 臨時　中野真治（堆肥センター）
  - 臨時　上田隆裕（堆肥センター）
  - 臨時　植田義宏（堆肥センター）
- 生産資材課　考査役　成田一博
  - 調査役　溝口天清
  - 主事補　太田希里子
  - 主事補　蓮井聖矢
  - 主事補　吉田　凌
  - 主事補　安坂勇也
  - 嘱託　山本和義
  - 臨時　藤原妃都美
  - （給油所）
  - 臨時　佐藤広幸
  - 臨時　名和直樹
  - 臨時　中村昭典
  - 臨時　澤田紗葵
  - 臨時　木内正実

◎職員数　65名
・正職員数　44名(男32名、女12名)
・嘱託職員数　7名
・準、臨職員数　14名

営農課からのお知らせ

４月中旬～５月中旬までの営農技術

これから植付、移植、播種を行う作物の圃場は停滞水を排出させ、圃場の乾燥を図って下さい。
また、作物全体に共通して、近年、雨が場所によって集中して降る場面が多くなっています。こうした気象変動を乗り越えるために、今後新たな土壌透排水性改善を検討する時期が来ています。作物の作付けに当たり、圃場の透排水性対策を駆使して下さい。

畑　作　物

【麦　　類】

１ 秋まき小麦

本年も融雪が早く進んでいます。春先の生育確保のためにも、融雪後の停滞水の状況を確認し、生育期間に停滞水が生じないよう排水対策を徹底して下さい。

⑴ 起生期の施肥

昨年秋の生育は降雨等の影響で播種時期が遅れましたが、その後の気象経過の中で順調な生育を見せ、遅いものでも４葉程度で越冬に入りました。春からの分けつは無効となるものも多いですが、既に完成されている分けつ茎は確実に穂になっていきます。播種の遅れた圃場では、融雪後の肥培管理に重点を置いて下さい。

起生期の窒素施肥は、茎数を把握して適正に行う必要があります。「きたほなみ」では、この時期の窒素施肥量は2～4kg/10aですが、茎数が㎡当たり1000本以下の場合は起生期の追肥を4kg/10aとし、幼穂形成期の生育をみて追肥して下さい。

ただし、いつものように起生期に黄化症状がみられる圃場については4～６kg/10aの窒素追肥が必要となります。また、止葉期には茎数と葉色から以降の窒素追肥量を決定して下さい。

「ゆめちから」は、追肥の反応が違うため、起生期に重点的に窒素追肥を行い、幼穂形成期は追肥を行わないスタイルで管理します。その後蛋白の上昇を図るため、止葉期に6kg程度の窒素追肥を行って下さい。

⑵ 麦踏み

本年の土壌凍結深は降雪が遅れたためやや深く（36㎝程度）入りました。このため越冬後の小麦の凍上による根浮きが見られます。根浮きの圧着と、倒伏軽減のため麦踏みを実施してはいかがですか（特に大豆間作小麦）。分けつ促進にも役立ちます。融雪後ローラーに土が着かなくなった時期にローラー（できればタイヤローラー）で鎮圧して下さい。ただし、5月5日頃幼穂形成期を向かえますのでその前までには終わらせるようにします。

⑶ 病害虫防除

眼紋病の発生が目立っています。対策は、茎数過剰にならないよう生育に応じた追肥を行うとともに排水対策を実施して下さい。特にやむを得ず連作した圃場では、眼紋病に対する薬剤散布の必要があります。散布適期は、幼穂形成期から節間伸長までですので、散布時期が遅くならないよう注意して下さい。

防除に当たっては、耐性菌の関係から以下の薬剤を用いて下さい。

ファンタジスタ　　2,000倍　　散布適期：5月4～16日頃まで

２ 春まき小麦

⑴ 圃場の準備

ほ場の低pHによる生育障害が近年目立っています。pH5.8以上を目標として石灰資材を投入し酸度矯正して下さい。

⑵ は種

砕土、整地を丁寧に行い、深まきにならないように注意し、出芽を揃えるようにします。過湿土壌条件では種作業は、土壌物理性を悪化させ透・排水性の不良による生育抑制につながるので、前もって圃場の乾燥につとめて下さい。

⑶ 施肥と倒伏防止

「春よ恋」は耐倒伏性が劣るので、土壌の地力等を考慮して窒素を加減する必要があります。

施肥窒素量は11kg/10aを上限に、基肥窒素7kg/10aとし、幼穂形成期（5/25頃）追肥窒素３～４kg/10aを追肥し、止葉期に植物成長調整剤を計画的に使用し、倒伏防止に努めて下さい。（令和4年度北海道指導参考事項）

⑷ **病害虫対策**

採種ほ産種子を用いて下さい。また、赤かび病の発生を抑制しDON汚染リスクを低減させるとともに、ムギキモグリバエの被害を回避するため、可能な限り早期は種を実施して下さい。

【ばれいしょ】

1 根域の確保

簡易排水対策として深耕・心土破砕等の土層改良により根圏域を確保して下さい。

2 種いもの準備

種いもはいも切時または植付前に再度選別を行い、欠株の原因となる、病いもや腐敗いもをしっかり取り除いて下さい。

3 浴光催芽

浴光催芽を実施してみませんか。ばれいしょは芽が動き始めた時が生育のスタートです。植付の1か月程度前から光に当て、芽を育てることで、芽数や、ストロンが増加します。植付後の生育では萌芽、開花が早まり、おのずと収穫時期も早まってきます。興味のある方はお問い合わせ下さい。

4 施　肥

特に窒素の多用を避け、品質を低下させないよう健全な生育の確保に努め、土壌診断及び施用する有機物に対応した適正な施肥を行って下さい。

5 植　付

ばれいしょの芽の生育適温は15～20℃です。地温が15℃以上になってからの植付が生育を促進します。津別町内の平年の気温から地温が15℃になるのは5月10日頃です。

6 病害虫対策

道内でもシストセンチュウ類の発生地域は拡大傾向にあります。津別町はまだ発生は確認されていませんが、今からばれいしょの連作、過作を避け、適切な輪作を実施して下さい。また、車輌、農機具、コンテナ及び長靴等の洗浄を徹底し、圃場間の土壌の移動を行わないようにいまから習慣づけておきましょう。（発生してからでは手遅れ）。

【てんさい】

1 移植栽培

移植は、圃場条件が整い次第早めに行い、初期生育の確保を図って下さい。栽植株数は7,000株/10aを確保して下さい。

2 直播栽培

⑴ は種量は、普通畦栽培では8,000本/10a、狭畦栽培においては10,000本/10aが確保できるよう調節します。

⑵ 生育初期に風害が懸念される場合は、被覆作物（麦類）の利用など風害軽減対策を検討して下さい。

【野　　菜】

たまねぎ

⑴ **圃場の準備**

移植後の活着促進には、土壌が適湿状態であることが重要となります。停滞水を除去し、周辺からの融雪水の浸透を防止して下さい。移植前には、土壌の乾燥化を進め砕土性を高めておいて下さい。

⑵ **早期は種作型の移植**

極早生品種による早期は種作型の移植適期は４月20日前後です、遅くとも４月25日までに移植を終えるようにします。早植えしすぎると土壌病害（ボトや黒腐菌核病）が発病するリスクが高まります。

情　　報

農協ではホクレン、普及センター、関係機関とともに各種肥料等の効果確認試験を実施しています。北見施防協（肥料・農薬試験）や、栽培試験（大麦、ばれいしょ新品種等）の単年度の試験結果につきましては、ＪＡコネクトや農協ＨＰにアップしていきますので参考にして下さい。

令和７年度　料金・料率表

①賦課金・手数料等

区　分	基　準			金　額　・　率		員外(金額・率)	
賦課金	戸数割	一戸当り		50,000円			
	組合員割	団体		13,000円			
	面積割	30ha 未満 : 10a 当り		1,350円			
		30ha以上50ha未満 : 10a当り		1,250円			
		50ha 以上 : 10a 当り		1,150円			
	家畜割	乳牛	経産牛 1 頭	950円			
		肉牛	繁殖雌 1 頭	600円	経産		
		肉牛	素牛(ﾎﾙ) 1 頭	120円	F1含む		
		肉牛	肥育(肉専) 1 頭	360円	ﾎﾙ含む		
	土地改良事業			3.0%		3.0%	
事務手数料	酪農畜産協会リース事業	導入金額に対し初回		1.5%			
農産販売手数料	麦	製品 60 kg あたり (規格外品 8 円/60 kg)		86円		172円	
	青果物・馬鈴薯(加工・食用)	販売代金に対し		2.0%		4.0%	
	澱粉馬鈴薯	MP含む販売代金25kgあたり		26円		52円	
	ビート(正味原料)	1 t あたり		165円		330円	
	種子馬鈴薯	50 kg あたり		35円		70円	
	大豆	製品 60 kg あたり		150円		300円	
畜産販売手数料	牛乳	乳代に対し		1.5%			
	畜品	市場搬入の場合２%		1.0%		2.0%	
その他幹旋品		取扱金額に対し		2.0%		4.0%	
牧草ロール		1ロール(幹旋料)		100円		200円	
放牧料	牛	1 日		220円		440円	
捕獲料		1 回		5,000円		10,000円	
施設利用料	小麦乾燥調整料金	出来高60ｋｇあたり		1,620円	調整のみ 653円	3,240円	調整のみ 1,306円
	甜菜床土料金	1 t あたり		7,550円		15,100円	
	種子馬鈴薯保管消毒料	50 kg あたり (消毒のみ50kg/50円)		440円		880円	
	甜菜育苗ポット料金	1冊あたり		2,775円		2,775円	
	小麦コンバイン利用料	10aあたり		4,500円			

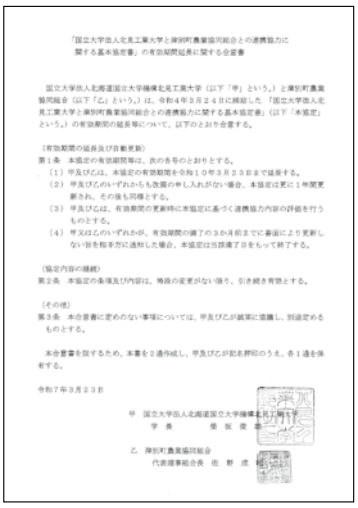
※労働保険事務手数料　　年間概算賃金総額×0.1%~/1件
※クミカン取引データの供給手数料　インターネット照会料 500円又は1,000円 管理料200円

② 家畜車運賃表

	畜　種	内　容	町内	オホーツク管内	管外	備考
牛	初生トク		1,320円	1,620円	3,000円	① 片道150kを越える運搬については別途協議 ② 2頭以下の運搬については別途協議 ③ 宿泊を要する運搬については、１日につき15,000円を別途徴収 ④ 馬の運搬については、畜主同伴とする ⑤ 主取となった畜品運搬については該当運賃の25%を徴収 ⑥ 員外利用者については、左記該当料金の2倍とする。
	育成牛	素牛含む	1,980円	2,640円	4,320円	
	成牛	肥育牛含む	2,640円	3,960円	6,600円	
	廃用牛	一律	2,640円	3,960円	6,600円	
馬	当才馬		2,640円	3,960円	6,600円	
	成馬		3,960円	6,660円	8,400円	
	廃用馬		－	6,660円	－	
その他	手術牛	往復	－	17,640円	－	
	小動物		－	－	－	
	入下牧牛		1,980円	2,640円	－	

北見工業大学との連携協定の有効期間延長に関する合意書締結！

国立大学法人 北海道国立大学機構「北見工業大学」と「津別町農業協同組合」との間で令和４年３月24日に締結していた連携協力に関する基本協定書の有効期間の延長に伴い、大学側より３年間の研究等で活性化され双方にとって有益であることが評価され、合意書が再締結されました。



「国立大学法人北見工業大学と津別町農業協同組合との連携協力に関する基本協定書」の有効期間延長に関する合意書

国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学（以下「甲」という。）と津別町農業協同組合（以下「乙」という。）は、令和４年３月２４日に締結した「国立大学法人北見工業大学と津別町農業協同組合との連携協力に関する基本協定書」（以下「本協定」という。）の有効期間の延長等について、以下のとおり合意する。

（有効期間の延長及び自動更新）
第１条　本協定の有効期間等は、次の各号のとおりとする。
（１）甲及び乙は、本協定の有効期間を令和１０年３月２３日まで延長する。
（２）甲及び乙のいずれからも改廃の申し入れがない場合、本協定は更に１年間更新され、その後も同様とする。
（３）甲及び乙は、有効期間の更新時に本協定に基づく連携協力内容の評価を行うものとする。
（４）甲又は乙のいずれかが、有効期間の満了の３か月前までに書面により更新しない旨を相手方に通知した場合、本協定は当該満了日をもって終了する。

（協定内容の継続）
第２条　本協定の条項及び内容は、時効の変更がない限り、引き続き有効とする。

（その他）
第３条　本合意書に定めのない事項については、甲及び乙が誠実に協議し、別途定めるものとする。

本合意書を証するため、本書を２通作成し、甲及び乙が記名押印のうえ、各１通を保有する。

令和７年３月２３日

甲　国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学
学長　　畑　　俊　　雄

乙　津別町農業協同組合
代表理事組合長　佐　野　　虎

防ごう農地崩落！

大切な農地を災害から守るために～

３月下旬に入り、急激な気温の上昇から一気に雪解けが進み、農地や取付道路の浸食や流失の危険性が生じます！

更に地盤の凍結が緩むと圃場の法面などの浸食も心配されますので、圃場を巡回・点検し、場合によっては、応急処置などを行ってください。

災害が発生した場合やその危険性が生じた場合、速やかに 町やＪＡへ連絡してください！

◇畑の表面水が集まる排水口は、越水や浸食されないように早めに排水対策を行う。※土のうやシートを準備する。
◇滞水しやすい場所は早めに溝切りや場合によっては速やかにポンプによる排水ができるように準備する。
◇側溝や明渠の支障物の撤去など流末の点検と整備・清掃を行う。

放置し災害が大きくなると、その修復のため多大な復旧費用と手間がかかる事になります！
土砂流出は他者への影響も甚大となることから、一人ひとりがそのことを認識し、地域と連携した取り組みを行いましょう。

◎**連絡先**…津別町産業振興課　TEL0152-77-8385(直通)・ＪＡつべつ営農課　TEL0152-76-3322

抽選でペア宿泊券のプレゼントのチャンス！

アンケートのお願い

アンケート概要

◆ 内容：余暇に対する意識調査
◆ 回答方法：QRコードを読み取り、
アンケートフォームにアクセスください。
◆ 所要時間：約5分
◆ 回答期限：**2025年4月30日（水）まで**
◆ 特典：抽選で3組様に
「**道内温泉ペア宿泊券**」をプレゼント！

アンケートはこちら！

プレゼント詳細

- 当選者数：抽選で3組
- 賞品内容：道内温泉ペア宿泊券
- 当選発表：当選者の方には2025年5月末にメールにてご連絡いたします

※当選の発表は、当選者へのご連絡をもって代えさせていただきます。

ご注意事項

- ご回答いただいた内容は統計的に処理され、個人を特定する形で公表されることはありません。
- 当選の権利は第三者への譲渡・換金はできません。
- アンケートへの回答は1人1回限りとさせていただきます。
- 個人情報の取り扱いについて
- 本アンケートでご記入いただいた個人情報は、以下の目的にのみ使用いたします。
  - アンケート集計・分析
  - プレゼント当選者への連絡
  - 今後のサービス改善のための参考資料
- 取得した個人情報は、当社のプライバシーポリシーに従って厳重に管理いたします。

アンケートの記入に関する注意事項：
（1）営農類型の記入内容について
・植木栽培は「⑤果樹・花卉」としてください。
・水田、畑作は「①耕種」としてください。
・営農類型の判別が困難な場合は聞取り者の判断で記入してください。
・地域住民の方は「④その他」としてください。
（2）問3、問4は旅行に限らず幅広く余暇活動についての回答としてください。

お問い合わせ
本アンケートに関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。
メール：ntour.sapporo@ntour.co.jp
電話：011-222-1151（平日9:00～17:00）
担当：株式会社 農協観光 北海道支店

ふれあいコーディネイター 株式会社農協観光

年金友の会情報

第1回　囲　碁　大　会

開 催 日：令和７年３月 11 日（火）
開催場所：ＪＡつべつ　２階和室

優　勝：下川　敏章（五段格）３勝０負
準優勝：三島　宏章（五段格）２勝１負
３　位：今井　　保（二段）　２勝１負

第二回理事会報告

開催日 令和7年3月13日

報告事項

①令和7年2月末財務状況について
②余裕金の運用状況及び総体的なリスク量報告について
③バーセルⅢ経営状況報告について
④JAバンクの内部管理体制構築にかかる指針変更について
⑤特定組合員との対応経過について
⑥各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
⑦各課報告事項について

付議事項

議案第1号　令和7年度利率・料率の設定について
議案第2号　令和6年度事業報告書・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分（案）・注記表及び付属明細書の承認について
議案第3号　収支シミュレーション（確定版）の作成について
議案第4号　令和7年度版「3つの方針」への対応について
議案第5号　令和7年度事業計画について
議案第6号　第95回通常総会付議事項について
議案第7号　行政庁用業務報告書の提出について
議案第8号　子会社の事業計画について
議案第9号　通常総会の開催について
議案第10号　利益相反取引について
議案第11号　固定資産の取得について
議案第12号　中小酪農等対策事業について
議案第13号　固定資産の売却について
議案第14号　子会社の資産売却について
議案第15号　令和6年度津別町農業振興表彰について

協議事項

①総会出席督励について
②各畑作・青果・酪農・畜産に関する各組織討議について
③地区懇談会意見審議並びに回答について

4月下旬・5月上旬の主な行事

4月	16日	水		5月	1日	木	
	17日	木	新規就農者激励状授与式 理事会		2日	金	
					3日	土	憲法記念日
	18日	金			4日	日	みどりの日
	19日	土			5日	月	こどもの日
	20日	日			6日	火	振替休日
	21日	月			7日	水	
	22日	火			8日	木	
	23日	水	４ヶ町村甜菜協議会総会		9日	金	
	24日	木	酪農振興会総会		10日	土	
	25日	金	有機酪農研究会総会		11日	日	
	26日	土			12日	月	
	27日	日			13日	火	年金友の会囲碁大会
	28日	月			14日	水	
	29日	火	昭和の日		15日	木	
	30日	水			16日	金	

～ 新入職員紹介 ～

・採用者　森（もり）　正（まさ）　充（みつ）（50歳）
・所　属　経済部　農産課（施設担当）
・採用日　令和７年３月10日付

農産物に関する仕事なので、未経験ではありますがこの度、ＪＡさんにお世話になることになりましたので、今後とも宜しくお願いします。

発 行　津別町農業協同組合　〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通30番地1
TEL0152-76-3322 FAX0152-76-3594　金融共済課直通電話 0152-77-3170
印 刷　有限会社 サンケイプリント社

ＪＡつべつ　検索
http://www.jatsubetsu.or.jp